

適期中干しで適正な 生育量を確保しよう

長岡農業普及指導センター

稲作情報 No. 3

代表電話：0258-38-2557

E-mail：ngt111440@pref.niigata.lg.jp

適期中干し・溝切りは、適正な生育量を確保し、根を健全化して登熟を良好にするため、品質の安定化に重要な技術です。

コシヒカリは、田植え後25日に茎数を確認し、遅くとも田植え後30日までに中干しを開始しましょう。

1 良質な茎の早期確保

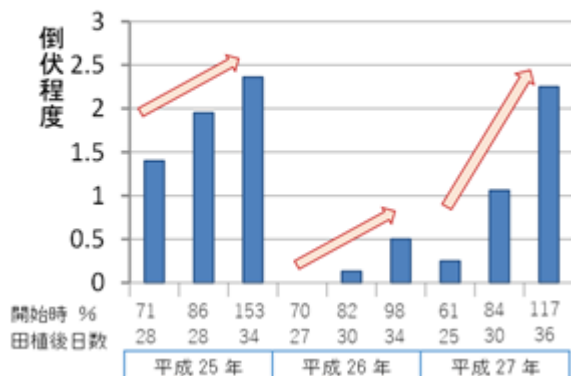
- (1) 活着後は水深2～3cmの浅水管理により、地温上昇に努め、分げつの発生を促しましょう。低温や強風の場合は4～5cm程度のやや深水にして植え痛みを回避しましょう。
- (2) 昨年秋は、ひこばえの発生量が多く、ワキ（土壌から発生するメタンや硫化水素などのガス）の多発生に注意が必要です。ワキの程度が大きくなると根腐れや生育停滞が懸念されるため、発生が多い場合は水の更新や夜間落水によるガス抜きを行いましょう。
- (3) 除草剤散布後7日間は止水とし、落水やかかけ流しはしないでください。

2 中干しは遅れずに実施する

【主な中干しの効果】

- ・過剰な分げつを抑え、適正な生育量となることで品質向上に役立つ
- ・下位節間の伸びを抑え、倒伏を防止する
- ・土壌に酸素を供給し、根を元気にする
- ・収穫時にコンバインで作業しやすいよう、地固めをする

- (1) 本格的な梅雨前に地固めを行いましょう。中干し開始が遅くなるほど、成熟期の倒伏程度は大きくなります。



中干し開始時期が遅くなると
倒伏が増加する

図 中干し開始時期と成熟期の倒伏
(作物研究センター)

※有機50%肥料栽培、平成25～27年。開始時%は目標穂数(350本/m²)に対する中干し開始時の茎数の比率。田植後日数は中干し開始時期を示す。

(2) コシヒカリは田植え後 25 日に茎数を確認し、目標穂数の 70%を確保したら中干しを開始しましょう。遅くとも田植え後 30 日までに中干しを開始し、遅れないようにしましょう。

高地力などにより、茎数過剰や倒伏が懸念されるほ場では、より早めの目標茎数 60%で中干しを開始しましょう。

表 1 目標穂数と中干し適期までの日数のめやす (コシヒカリ)

目標穂数 (本/m ²)	目標穂数の70% (m ² 当たり穂数)	植付株数 (株/坪)	中干し開始めやす (株あたり茎数)	中干し適期までの日数のめやす 1株あたり平均茎数(本/株)								
				9	10	11	12	13	14	15	16	
				7日後	6日後	5日後	3日後	3日後	2日後	1日後	本日	
350	245	50株	16本	7日後	6日後	5日後	3日後	3日後	2日後	1日後	本日	
		60株	13本	5日後	4日後	3日後	2日後	本日	本日	1日前	2日前	
340	238	50株	16本	7日後	5日後	4日後	3日後	2日後	1日後	1日後	本日	
		60株	13本	5日後	3日後	2日後	1日後	本日	1日前	2日前	3日前	
320	224	50株	15本	6日後	5日後	3日後	2日後	2日後	1日後	本日	1日前	
		60株	12本	5日後	3日後	2日後	1日後	本日	1日前	2日前	3日前	

※長岡地域コシヒカリ生育調査7地点の10年間(平成26年~令和5年)における5月30日~6月20日の期間の移植後日数と茎数の関係から試算。

※4本/株の場合

田植え後 25 日に各ほ場の平均的な株の茎数を数えましょう。



- ・分げつは葉の内側(主茎側)から出てきます。
- ・写真は、分げつ2本+主茎で、茎数3本。4本/株植えだと12本/株となります。



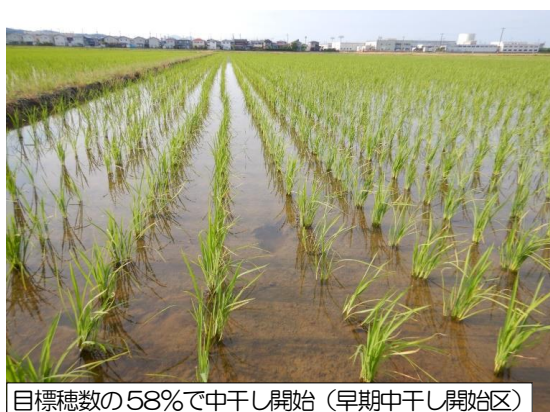
(例) : ウチは、
目標穂数 350 本/m²で、
60 株セットだから、
今 12 本/株だと、明日が中干し適期だね

中干し適期では、1日1株あたり約1本以上の茎数が増加することもあるので、中干しは遅れずに実施しましょう！

遅くとも田植え後 30 日までに中干しを開始。中干し適期は、条の先まで見通せる時期です。



参考) 令和3年 早期中干し展示ほ (長岡市与板、田植え5月12日) から
地耐力が低いほ場、高地力で毎年大できするほ場では早期落水を検討してください。



目標穂数の58%で中干し開始 (早期中干し開始区)

○ 早期中干し開始区は、本格的な梅雨前に田面を固くすることができ、最高分けつ期には慣行区と遜色のない生育量を確保できました。※



6/23 田面 (早期中干し開始区)



6/23 田面 (慣行区)

写真左 : 早期中干し開始区の中干し開始時の状況 (6月11日 (田植え後30日)、目標穂数350本/m²の58%)
写真中央 : 6月23日 早期中干し開始区 (中干し開始12日後) の田面
写真右 : 6月23日 慣行区 (中干し開始6月14日 (田植え後33日、目標穂数の73%) の9日後) の田面
※ 最高分けつ期 (6月30日) の茎数は、早期中干し開始区511本/m²、慣行区466本/m²

(3) コシヒカリ以外の品種は目標穂数に応じて、下表をめやすに行いましょう。多収栽培の中干しは、コシヒカリよりやや弱めで、梅雨入り前に地耐力がつく程度とし、茎数を確保しましょう。

表3 目標穂数と中干し開始時期のめやす (コシヒカリ以外)

品種	目標穂数 (m ² 当たり穂数)	目標穂数の80% (m ² 当たり穂数)	植付株数 (坪当たり株数)	中干し開始めやす (株当たり茎数)
こしいぶき	400本	320本	60株	18本
五百万石	325本	260本		14本
ゆきん子舞 (多収栽培)	470本	376本		21本
つきあかり (多収栽培)	400本	320本		18本
あきだわら (多収栽培)				

(4) 中干しの程度は田面に小ヒビが入り、足跡が付いて歩ける状態をめやすとします。

- ・ 転作あとや土壌が肥沃な地帯、生育量が大きく倒伏する恐れのあるほ場では、早めに中干しを始め、強めに干しましょう。
- ・ 大ヒビが入ると根が切断され、品質が低下する場合がありますので、遅くとも出穂期1か月前をめどに終了しましょう。



中干し終了時、かん水前の田面の状況

4 溝切りは確実に実施する

- (1) 溝切りは中干しの効果を高めるとともに、フェーン等の緊急時のかん水や、秋の長雨による停滞水の排水を可能にします。
- (2) 溝の間隔は約3m（10条に1本）程度、溝の深さは10cm以上とします。タテ溝とヨコ溝は連結し、必ず水口と水尻をつなげましょう。また、必要に応じて手直しを行いましょう。

5 補植苗はすみやかに処分する

- (1) 補植苗をほ場に放置すると、いもち病の伝染源となります。すみやかに処分しましょう。
- (2) いもち病多発生地や、わたぼうし・新之助等のいもち病に弱い品種で箱施用剤を使用していない場合は、本田で必ず予防的な防除を実施しましょう。



「春の農作業安全運動」を実施中です。（令和6年4月1日～5月31日）

「大丈夫」 その思い込みに 気をつけて

作業前の周囲の安全確認と、ゆとりある作業を実施しましょう。